

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援センター―宮市立いずみ学園		
○保護者評価実施期間	2026年1月15日		2026年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	32	(回答者数) 30
○従業者評価実施期間	2026年1月15日		2026年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	25	(回答者数) 25
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月19日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練を行っていること。また、事故等(けがを含む)が発生した際に保護者に連絡し、速やかに発生した際の状況などについて説明していること。	・マチコアプリや電話を活用し、速やかに保護者全員に連絡がいくようにしている。	・近隣の施設と連携し、より多くの安全に過ごせる避難場所を確保していきたい。 ・今後も、非常時に備え、近隣の他施設との合同訓練を行ってきたい。
2	・一人ひとりの発達段階や特性に応じた児童発達支援計画に基づき、専門性の高い支援を実施していること。	・職員間での情報共有や振り返りを丁寧に行い、支援内容の見直しや改善、質の向上に継続的に取り組んでいる。	・アセスメントを適切に行い、根拠に基づいた支援を行っていく。また、ケース検討を実施し、チームとして一貫性のある支援に努めていく。 ・職員の資質向上を図るため、研修等の機会を充実し、一人ひとりの職員の資質向上に努めていく。
3	・日ごろからこどもの状況を保護者と伝えあい、こどもの健康や発達の状況について共通理解を努めている。また、定期的に面談や子育てに関する助言等の支援を行っていること。	・連絡帳や送迎時に、こどもの状況を伝え合ったり、懇談会で定期的に話し合う時間を確保したりして、保護者への相談・援助に努めている。	・今後も引き続き、定期的な懇談会に加え、保護者の相談等には、迅速かつ適切な対応に努める。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・施設が老朽化していること。 ・スペースに限りがあること。	・十分な予算の確保。	・必要な修繕を速やかに行っていく。
2	・ホームページやSNSを使った通信等の発信がない。	・個人情報の観点から、不特定多数が閲覧可能なホームページ等に掲載することは控えている。	・マチコみや紙面での園だより、クラスだよりでこどもたちの様子を知らせており、今後もそれらを使った発信に努めていく。
3	・きょうだい同士が交流できる行事・機会が少ないこと。	・保護者支援は行っており、その中できょうだいについても家庭での困り感について相談援助をしている。 ・園庭開放にきょうだい児にも来ていただき交流できる機会にはなっているが、しっかりと周知ができていなかった。	・相談支援において、繋げる社会資源を把握する必要がある。 ・園庭開放がきょうだい児の交流の場となるように、一層の情報発信に努める。 ・隣接する障害者施設の催事に学園も参加し、園庭開放を行うことで、きょうだい同士が交流できる機会をふやす。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	児童発達支援センター宮市立いずみ学園		公表日		2026年3月24日		利用児童数	33 (2026年1月31日時点)	回収数	30
チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応				
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	23	6	1	0	<ul style="list-style-type: none"> ・もう少し広いとよいが、目が行き届かないのもいけないので、何ともいえないと思う。 ・建物が古く、利用したい人に対して建物のキャバが少なく感じるが、施設側の努力で対応されていると思う。 ・必要最低限の広さはあるが、雨の日など屋内で1日過ごすには物足りないと感じる。 ・教室も適切な広さ。雨などで園庭が使えない日も集会室に遊具を設置してくれて、しっかり体を動かして遊べるのも良い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・療育室、集会室共に十分ではないが、設備基準を満たした広さを確保している。集会室は、時間を区切ってクラスごとに使うなど、工夫して使用している。 ・今後も遊びが充実するような遊具を備えるように努めていきたい。 		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	25	5	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・これ以上ないくらい手厚く配置してもらっている。 ・職員の勤務時間が異なるため、数十分程度、こどもの人数に対して手薄ではと思う時もあるが、先生方のマンパワーがとてもあるので成り立っているように感じた。 ・1クラスにおける配置人数は適切だと思うが、その中から受け持つ子の人数が適切でないと。労働条件等制限ある先生が1人または2人しか見れないのは仕方がない。1人の先生が4人を見る必要があるのであれば、労働条件以外にもその先生の能力をみる必要があると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の勤務時間が異なっても、常に基準以上の人員配置となるようにしている。 ・研修だけでなく、日々の療育を振り返りながら、職員の資質・能力向上に努めていく。 		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	26	3	1	0		<ul style="list-style-type: none"> ・こどもにわかりやすい構造化された環境整備に努める。 ・設備等の修繕・改修は適宜行えるよう予算の確保に努める。 		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	24	6	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・脱走防止で締め切られた空間のため、感染症の流行る時期は空気清浄機などがあると安心と思う。 ・古い。 ・清掃は毎日終業時にされていて清潔に保たれていると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・空気清浄機は設置していないが、職員の手指消毒・マスク着用をはじめ、換気を十分にしよう心掛けている。 ・清掃は毎日行っている。 		
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	28	1	1	0	<ul style="list-style-type: none"> ・先生による。 ・支援内容は十分と思うが、言語療法や作業療法が月2回になると病院等別の場に通うことが必要なくなる。こどもも同じ先生の訓練のほうが混乱しないと思う。ほとんどの子が病院の作業療法や言語療法にも通っている様子がみられるのでそう感じた。 ・作業療法は医療機関よりも質の高い作業療法を受けられていると感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員研修により個々の職員の専門性の向上に努めている。 ・現在の人員で言語療法・作業療法の回数を増やすことは難しいが、要望があることを踏まえ、今後の施設運営を考えていきたい。 		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	27	1	0	2		<ul style="list-style-type: none"> ・支援内容に沿った支援プログラムを公表している。 		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	27	2	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・先生による。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員全体で情報を共有し、こどもと保護者のニーズの理解に努め、適切な児童発達支援計画を作成するよう努めている。 		
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	28	1	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・先生による。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ガイドラインの項目に沿って、具体的な支援内容の設定に努めている。 		
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	26	3	0	1		<ul style="list-style-type: none"> ・児童発達支援計画に沿った適切な支援が行われるよう努めている。 		
10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	27	0	0	3		<ul style="list-style-type: none"> ・今後も職員間で話し合い、こどもに合わせた活動プログラムを行うよう努めていく。 			

保護者への説明等	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	28	0	1	1	・親子交流保育やクラス交流保育もあり、保護者も我が子が他のこどもの中に入るとどのような様子なのか分かり、色々考えることが出来るのでありがたい機会だと思う。	・親子交流、クラス交流は継続して、積極的に交流する機会を設けていく。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	28	1	0	1		・引き続き保護者への丁寧な説明に努めていく。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	29	1	0	0		・引き続き保護者への丁寧な説明に努めていく。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	27	2	1	0	・個別に懇談する機会は多いが、ペアレンど親が勉強する機会があまりないと感じる。	・毎年度当センター主催のペアレントプログラムを開催しているため、更に周知していきたい。 ・保護者向け研修会などは、定期的に開催していく。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	30	0	0	0	・連絡帳やバス送迎の際にも口頭で都度共有してもらえるので、様子がとてもよく分かりありがたい。	・日頃から、保護者と園との間でこどもの状況を伝え合うことや、共通理解に努めている。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	29	1	0	0		・懇談会、家庭訪問等を定期的に行っている。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	27	2	1	0	・先生による。 ・どの先生に相談しても共感とアドバイスをもらえるので、相談しやすい。	・今後も利用者へ寄り添った事業所運営に努めていく。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	20	6	1	3	・イベントはないが、面談の時などにつもきょうだいの話まで聞いてもらえる。 ・きょうだい向けというのがよく分からない。 ・保護者の交流機会はあがるが、きょうだい同士の交流や支援は少ない。 ・きょうだい同士の活動は難しいようだが、その他はしっかり設けられていると思う。	・保護者会の活動にできるかぎり協力し、交流の機会が設けられるような事業所運営に努めている。 ・きょうだい児の状況も丁寧に聞き取り、必要な支援に繋げるように努めている。 ・園庭開放にて、きょうだい同士が交流できる場を設けているので、一層情報発信していきたい。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	28	1	0	1	・先生による。	・保護者からの相談等には、迅速かつ適切な対応を常に心掛けているが、対応する職員によって差が生じないように、職員間の情報共有に努めている。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	29	0	1	0		・外国由来の方々とのコミュニケーションも含め、今後もより丁寧な説明を心掛けていきたい。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	24	3	1	2	・通信やホームページ、SNSサイトはなく、また通所参加者の特性から難しいと思う。そのかわり連絡帳や毎日、顔を合わせるタイミングで情報を伝えてもらっていると思う。	・行事予定等の定期的な連絡は園だより説明会、日時の連絡はマチコミアプリにて発信している。 ・誰でも閲覧可能なホームページ等の活用については、個人情報との兼ね合いも鑑み、検討したい。 ・自己評価の結果は、毎年度HPで公表している。
22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	28	0	0	2		・今後も守秘義務の遵守、書類の管理を徹底していく。	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	26	0	1	3		・各種事態を想定した訓練を定期的に行っている。 ・各種マニュアルはいつでも閲覧できるようにしている。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	30	0	0	0		・火災、地震、水害などの非常災害を想定した避難訓練や、園児の体調急変を想定した救急対応訓練等を継続して行っている。 ・災害時を想定した保護者への引き渡し(お迎え)訓練を行っている。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	28	2	0	0		・毎月の園だより説明会で、計画に基づく翌月の訓練予定を知らせている。
	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	29	0	0	1		・事故や怪我が発生した際は、看護師による確認とともに保護者への速やかな連絡と正確な情報伝達に努めている。

満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	29	1	0	0	・それが1番ありがたいことと思っている。	・学園がこどもにとって安心でき、意欲に繋がっていくよう、今後も努力していきたい。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	29	1	0	0	・毎日楽しそうに通わせている。 ・自ら進んでバスに乗って行くので、言葉はなくても楽しいのだなと分かる。	・学園がこどもにとって安心・安全でのびのびと自分の力を発揮できる場であるよう、今後も努力していきたい。
	29	事業所の支援に満足していますか。	29	0	1	0	・先生による。 ・先生方はじめ、いずみ学園に通えて本当に良かったと思っている。	・保護者の子育ての良き理解者、こどもの伴走者であるよう、今後も努力していきたい。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	児童発達支援センター—宮市立いずみ学園		公表日		2026年3月24日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	19	6	<ul style="list-style-type: none"> 発達支援室は面積要件を満たしており、必要に応じて集会室、廊下の一部を活用している。 廊下や部屋にカーテンや衝立、柵を使って上手く使っている。 自立課題やクールダウンは廊下も活用している。 	<ul style="list-style-type: none"> こどもの人数や動きに対して少し部屋が狭く感じることがある。 クールダウンの部屋がない。 部屋に対して人数が多いと感じることがある 施設が古く、部屋の鍵が緩む。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	18	7	<ul style="list-style-type: none"> 他事業所よりも職員数は多い。 保育士が1対1で関わる必要がある重度の障害がある利用者があるため、現在の配置数は適切であると感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> 1対1の関わりが必要な子もいるため、もっと人員が必要と思うことはあるが、基本的に適切な配置数である。 配置基準は満たしているが、パニックなど、こどもの状況によって人手が不足していると感じるときもある。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	18	7		<ul style="list-style-type: none"> クラスごとの発達の差が大きく、こどもに合わせて環境を整える必要がある。 玄関やテラス出入口のバリアフリー化。部屋の構造的に難しい箇所がある。 動線を分かりやすくする工夫が必要だが、できていないところもある。 こどもにとって分かりにくい環境もあると思う。 屋内壁面の利用をすると良いと思う。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	19	6	<ul style="list-style-type: none"> 施設内の消毒や清掃に努めている。 施設修繕等は、適宜対応している。 こどもたちが安心・安全に過ごせる環境を整備していくよう努めている。 	<ul style="list-style-type: none"> 建物が古く、汚く見える部分がある。 トイレをもう少し増やしてほしい。 トイレの臭いが廊下に漏れる。 玩具の点検等が充分に行えていないと感じるときがある。定期的に行う時間を作ることが課題。 収納スペースが限られ、廊下に椅子や物を置いている。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	16	9	<ul style="list-style-type: none"> 部屋は必要数しかないが、集会室や廊下の一角を仕切ったコーナーなどを利用するなど工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> クールダウンの部屋（何も無い個室等）がある。とよい。 自立課題の部屋を設けたが、入り口とともに狭い。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	25	0	<ul style="list-style-type: none"> 職員間でケース会議を開催している。こどもの支援方法を話し合い、実践し、振り返る機会を定期的に設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後も継続する。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	24	1	<ul style="list-style-type: none"> 保護者と話し合う機会を設けている。 保護者等の意見を療育環境改善の参考としている。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後も継続する。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	23	2	<ul style="list-style-type: none"> 会議等で発言しにくい内容も汲み取るため、意見箱を設置している。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後も継続する。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	18	7	<ul style="list-style-type: none"> 事業所評価や外部からの来園者の声などから意見収集するなど工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後も継続する。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	24	1	<ul style="list-style-type: none"> 外部研修だけでなく、園内研修も多数開催し、各職員が複数回の研修に参加できるようにしている。また、学習会も開催したくさんの学びの機会を設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 研修内容が伝講されないことがある。

適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	25	0	・できるだけわかりやすい文章にして公表している。	・今後も継続する。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	25	0	・年に数回、保護者と懇談する機会を設け、丁寧にアセスメントしている。保護者の意向やこどもの姿に合わせた支援計画を作成している。 ・項目ごとに細かくアセスメントを行い、発達や特性に合わせた支援計画を作成している。	・今後も継続する。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	25	0	・クラス間で毎週会議を行い、こどもの姿を伝え合い、適切な支援ができるよう共通理解を図っている。	・今後も継続する。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	24	1	・クラス間で毎週会議を行い、こどもの姿を伝え合い、適切な支援ができるよう共通理解を図っている。	・今後も継続する。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	25	0	・新版K式発達検査や発達プロフィール、保育士による行動観察記録などを利用して、こどもの発達に応じた支援に繋げている。	・支援開始時と最終評価時にフォーマルのアセスメントができることと支援の成果が分かり、より良いと思う。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	25	0	・こどもの発達や保護者の意向に合わせた支援を項目ごとに設定している。	・今後も継続する。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	24	1	・クラスの主活動など、職員間で話し合いアイデアを出し合って決定し、特性・育ちに合わせた活動プログラムを行っている。	・今後も継続する。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	25	0	・季節に合わせた活動やこどもの発達、支援内容に合わせたプログラムを考え、固定化しないよう努めている。	・今後も継続する。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	25	0	・集団の中で育てたいこと、個別の中で丁寧に育みたいこと、それぞれの活動のねらいを考えながら行っている。	・今後も継続する。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	25	0	・できるかぎりその日行われる支援の内容や役割分担について確認している。	・日によっては打合せができていないこともある。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	24	1	・毎日打合せを行い、情報共有するよう努めている。	・毎日打合せができるよう、チームで時間を確保していきたい。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	25	0	・毎日の個別記録や専門職による言語訓練・作業療法の記録など、職員間で周知し支援につなげている。	・今後も継続する。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	25	0	・3か月に1回、保護者との懇談会を行い、支援計画の見直しを行っている。	・今後も継続する。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	24	1	・担当者会議や医療、学校、保育園との話し合いには児童発達支援管理責任者や担当保育士など数名で参加し、情報提供を行っている。	・今後も継続する。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	25	0	・精神科医の訪問・相談や歯科医・内科医の検診、支援学校への引き継ぎ等、地域医療や教育施設などと連携を図っている。	・今後も継続する。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	23	2	・保育園との親子交流・クラス交流などを行っている。その際、職員が必要な情報提供を行うなど連携を図っている。 ・保育園交流に参加している園と保護者双方と話し合い、連絡を取り合うようにしている。	・今後も継続する。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	23	2	・小学校等への就学時の意向の際には、支援内容等の引継ぎを行っている。	・移行後に支援学校からの情報は少ないように思うので、就学後の様子を把握できるように情報共有を図りたい。
28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組を行っているか。	24	1	・研修の機会を作ったり事業所間での見学等を行っている。	・今後も継続する。	

	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	25	0	・ 専門家とのケース検討を行ったり、積極的に外部研修へ参加している。	・ 今後も継続する。
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加しているか。	22	3	・ 子ども部会に参加したり、部会での研修や会議等にも参加している。	・ 今後も継続する。
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	/	/	/	/
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他の子どもと活動する機会があるか。	25	0	・ クラス交流や親子交流で地域の保育園と交流する機会を設けている。	・ 今後も継続する。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	25	0	・ 毎日の連絡帳や話し合いで保護者と信頼関係を築き、共通理解を図っている。	・ 今後も継続する。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	25	0	・ 毎年度ペアレント・プログラムを開催し保護者に参加してもらっている。 ・ 保護者向けの研修会を開催し、情報提供している。	・ 今後も継続する。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	25	0	・ 体験入園やアセスメント時に説明をしている。	・ 今後も継続する。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	25	0	・ 懇談会で丁寧なアセスメントを行っている。	・ 今後も継続する。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	25	0	・ 計画を示しながら説明し、同意を得ている。	・ 今後も継続する。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	25	0	・ 毎日の連絡帳や電話連絡等で保護者の不安や悩みを受けとめ、必要に応じて話し合いをする時間を作っている。 ・ 懇談会及びクラス懇談会を定期的に開催している。	・ 今後も継続する。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	22	3	・ 保護者会のバックアップ・園庭開放を行っている ・ きょうだい同士の交流の場は園庭開放の場を使うなど工夫している。 ・ 運動会ではきょうだい児の競技(かけっこ)を設定している。	・ 保護者同士の交流の機会はあるが、きょうだい同士の交流の機会は少ない。 ・ 園庭開放のきょうだい利用は少ないため、情報発信に努めたい。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	25	0	・ その都度、迅速に対応するようにしている。	・ 今後も継続する。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	25	0	・ マチコミアプリを利用し、情報が迅速に提供できる体制を整えている。 ・ 園だより、クラスだよりを発行している。	・ 今後も継続する。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	25	0	・ 個人情報の取扱いについて説明し、同意書を作成している。 ・ 個人情報の漏えいや、守秘義務については全職員が留意している。	・ 今後も継続する。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	25	0	・ 視覚支援、外国由来の保護者には翻訳アプリ等を使用してコミュニケーションを図っている。	・ 今後も継続する。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	15	10	・ 教育展への出品、隣接する障害者施設主催行事へ参加し、地域住民が事業を訪れる機会を設けるなど地域に開かれた事業運営に努めている。 ・ 学園の周りを散歩する等、地域との関わりを持つ機会を設けている。	・ 今後も継続する。

非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	25	0	・避難訓練・防犯訓練・重大事故訓練等、定期的に行い会議で振り返りを行っている。 ・策定した訓練内容を園だより説明会にて周知している。	・今後も継続し、一層の保護者周知に努めたい。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	25	0	・BCPを策定しセンター全体で訓練を行っている。	・今後も継続する。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	25	0	・アセスメントで確認し、会議にて職員間で情報共有している。	・今後も継続する。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	25	0	・医師の指示書は1年ごとに更新してもらっている。	・今後も継続する。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	24	1	・定期的に訓練を行いながら、職員間で安全に支援できるよう連携している。	・今後も継続する。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	23	2	・こどもの安全のために、具体例を示しながら家庭との連携に努めている。	・今後も継続する。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	23	2	・ヒヤリハットの事例を職員間で話し合い、事故につながらないような職員の配置や環境整備など話し合い、再発防止に努めている。	・必ず情報共有できる体制整備に努めたい。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	25	0	・研修の機会は多くある。	・今後も継続する。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	25	0	・身体拘束適正化委員会で身体拘束について協議し、職員全員が常に問題意識を持つよう努めている。 ・保護者には契約時等に丁寧に説明し、同意を得るようにしている。	・今後も継続する。